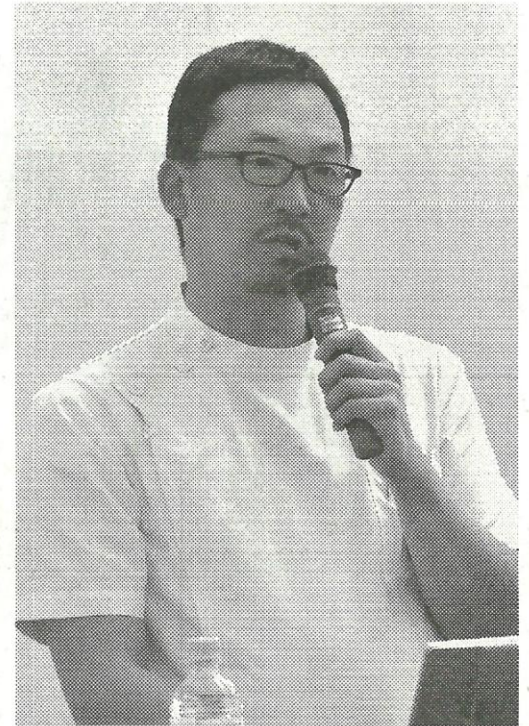


「背骨の変形 諦めないで」



「背骨の変形とその治療」を
テーマに解説する小谷副院
長

製鉄記念室蘭病院（松木

高雪院長）の「第14回市民健康セミナー」が、室蘭市知利別町の同病院1階フウオンジで開かれ、昨年6月に同病院に導入された新鋭の術中モバイルCT（コンピュータ断層撮影装置）と、最新式のコンピュータナビゲーションを用いた背骨の変形などの治療法について、市民らが理解を深めて

を説明した。

このシステムでは手術中に患部の高精細3D画像撮影が可能になるといふ。小谷副院長は、頸椎後彎や脊柱側彎症の手術では「より安全で確実な手術を行うことが可能」と強調。手術痕が小さくて済む、出血量が少ない、数日後には歩行も可能などのメリットも説明した。

最新の治療法を紹介

いた。

一般市民向けの恒例の健康講座。今回は小谷善久副院長・脊椎脊髄センター長が「背骨の変形とその治療」について解説。昨年6月に北海道・東北地区では初導入となる「術中モバイルCTと最新式のコンピュータナビゲーション」を活用した低侵襲手術の長所など

また、脊柱側彎症に対す

る低侵襲的前方固定術に関しては、同病院は全国の他5病院とともに、先行臨床研究施設となっていることも解説。「背骨の変形などに関して治せない、と言われて諦める人が多い。あらためて受診してほしい」と呼び掛けた。（松岡秀宜）